

(精査中)

資料 3

第六次宮崎市総合計画  
基本構想  
(素案)

令和 5 年 11 月

目 次

序 章 計画策定に当たって

- 1 計画の構成 . . . . . P 3
- 2 目標年次と計画期間 . . . . . P 4

第 1 章 将来の展望

- 1 (仮称)人口の見通し . . . . . P 5
- 2 (仮称)将来への課題 . . . . . P 6

第 3 章 将来の都市像と目指すまちの姿

- 1 将来の都市像 . . . . . P 8
- 2 目指すまちの姿 . . . . . P10
- 3 将来の都市構造 . . . . . P14

## 序 章 計画策定に当たって

### 1 計画の構成

- ・ 第六次宮崎市総合計画は、基本構想及び基本計画で構成します。

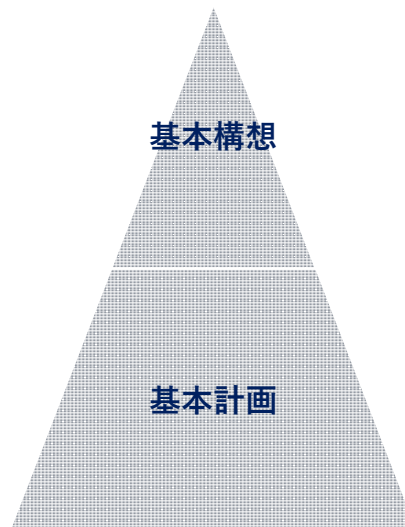
#### (1) 基本構想

- ・ 基本構想は、本市が進むべき方向と将来像を明確にした上で、目指すまちの状態を示すものとしします。

#### (2) 基本計画

- ・ 基本計画は、基本構想を実現するための方策を体系的に示すものとしします。

(計画構成図)



## 序 章 計画策定に当たって

### 2 目標年次と計画期間

#### (1) 目標年次

- ・ 総合計画の目標年次は 2034 年度とします。

#### (2) 計画期間

- ・ 第六次宮崎市総合計画の基本構想及び基本計画の計画期間は、2025 年度から 2034 年度までの 10 年間とします。
- ・ 基本計画は、市政運営の状況及び社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ適宜見直しを行うものとします。

#### (目標年次のイメージ・計画期間図)



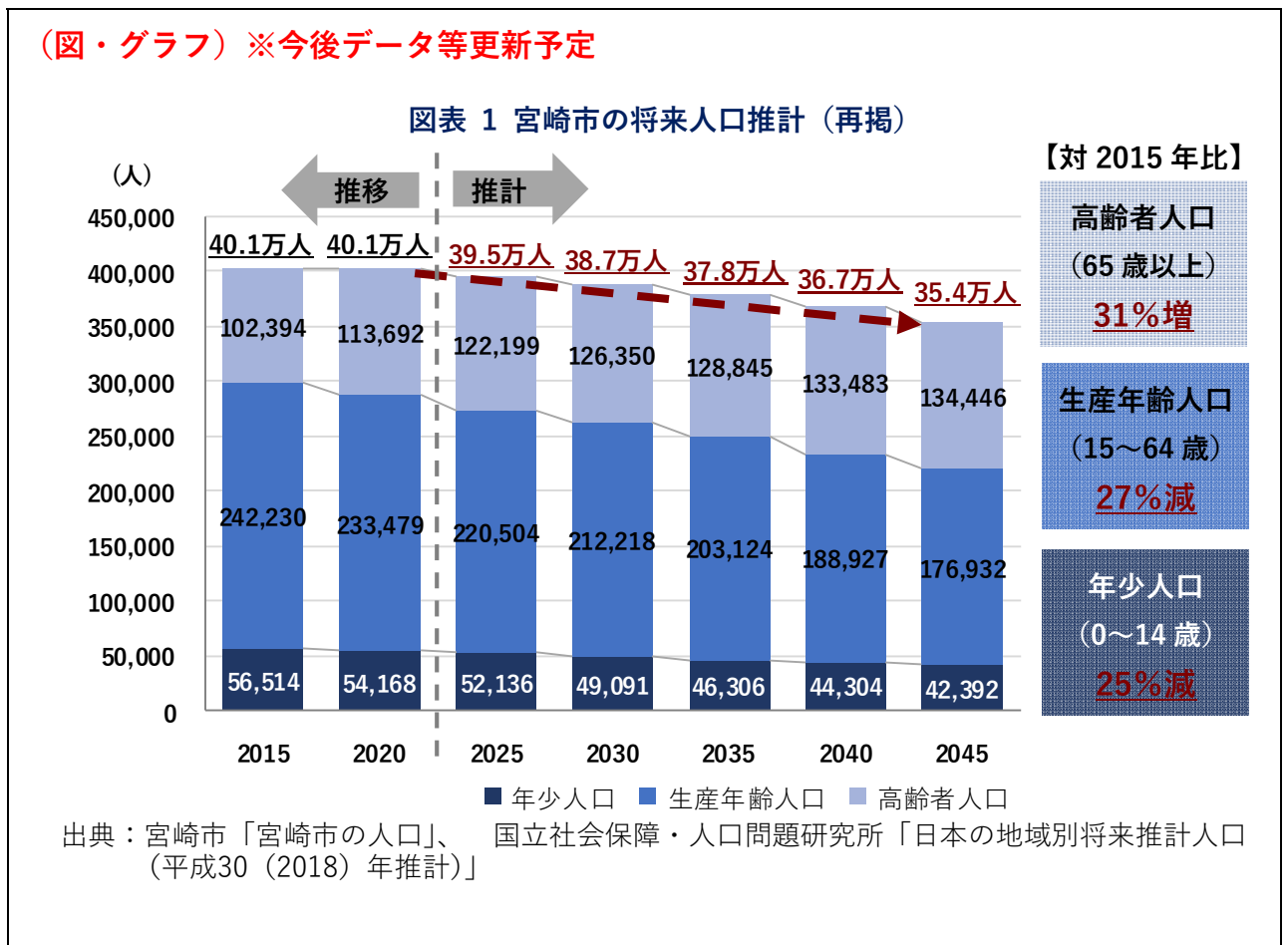
## 第1章 将来の展望

### 1 人口の見通し

#### (1) 減り続ける総人口と変わる年齢構成

- ・ 2015年の国勢調査結果を基準とした将来推計人口では、宮崎市の人口は今後も減少傾向が続き、2045年には約35.4万人になることが見込まれます。
- ・ 将来推計人口を、3区分（0-14歳の年少人口、15-64歳の生産年齢人口、65歳以上の高齢者人口）でみると、年少人口と生産年齢人口は減少が続く一方で、高齢者人口は増加傾向が続くことが見込まれます。

(図・グラフ) ※今後データ等更新予定



## 第1章 将来の展望

### 2 (仮) 将来への課題

#### (1) 人口減少、少子高齢化がもたらす地域社会への影響

- ・ 総人口が減少し、年齢構成が大きく変化していく中、様々な課題が顕在化しており、さらに深刻化していくことが見込まれます。

##### 地域経済への影響 (例)

###### 【産業・雇用】

経済規模の縮小、労働力不足 等

##### 市民生活への影響 (例)

###### 【医療・福祉】

要介護・認知症の高齢者の増加、福祉を担う人材不足等

###### 【地域】

地域活動の担い手不足、地域の防犯力や防災力の低下、  
空き家の増加による生活環境の悪化 等

##### 将来世代への影響 (例)

###### 【子ども・子育て・教育】

教育環境の変化、

保育や子どもの居場所づくりに関するニーズの多様化 等

###### 【行財政運営】

社会保障費の増加、税収の減少 等

#### (2) 地域経済の変化

- ・ 本市の市内総生産は、近年減少傾向にあり、今般の燃料価格の高騰は、それに拍車をかけるように、本市の経済に大きな影響をもたらしています。今後の国内経済の縮小や労働力不足も見込み、新たな視点で経済成長を考えていくことが求められます。

#### (3) 気候変動への対応・自然災害の発生

- ・ 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出により、世界的に気温が上昇している中、本市では、人口当たりの二酸化炭素排出量が、近年はやや増加傾向にあることから、市民、事業者、行政等が一体となった対策を進めることが求められます。
- ・ 南海トラフ地震をはじめとした今後想定される自然災害について、様々な面からの備えが求められています。

#### **(4) グローバル化の進展**

- ・ グローバル化が進み、国と国との間の「ひと」「もの」「情報」の移動が各国の社会経済を支えている現代において、本市としても、変化に柔軟に対応しながら、世界に目を向けた取組が求められています。

#### **(5) デジタル化の進展・価値観の変化**

- ・ デジタル化が加速する中、デジタル技術を活用による地域課題の解決や地域の魅力向上に向けた取組が求められています。
- ・ 人々の価値観の多様化が進む中、誰もが活躍できる社会の実現が求められます。

#### **(6) 財政状況とインフラの老朽化**

- ・ 社会保障にかかる経費が見込まれることから、適切な財政運営が求められます。また、公共施設等の老朽化が深刻化することが見込まれることから、適切な維持管理等が求められます。。

### 第3章 将来の都市像と目指すまちの姿

#### 1 将来の都市像

##### (1) 南国宮崎らしさをいかしながら、「開かれたまち」へ

- ・ 本市は、日向灘を北上する黒潮によって、温暖な気候に恵まれ、日照時間も長く、一ツ葉海岸から亜熱帯植物の繁殖する青島、日南海岸へ続く長く海岸線は、古くから南国宮崎のイメージを形成してきました。
- ・ そして、温暖な気候や豊かな自然環境をいかして、観光、スポーツ、農業分野において大いに発展してきました。
- ・ 今後も本市の美しい海岸線や河川、山々などの魅力ある自然や気候をいかしながら、地域資源の開発など、リゾート都市のイメージにふさわしいまちづくりを目指します。
- ・ また、本市では、長期的な人口減少と少子高齢化の進展が見込まれていることから、人口減少・少子高齢化が引き起こす様々な影響を本市最大の課題と捉え、あらゆる分野において、国内のみならず世界から注目され選ばれる都市にしていかなければなりません。
- ・ さらに、県都としての誇りを胸に、多様な主体がともに手を携えながら、新たなことに挑戦できる開放的なまちづくりを行うことで、本市の更なる発展を図ることも重要です。
- ・ そこで、本市では「将来の都市像」を次のとおりとします。

▶みんなで描く、宮崎市の「将来の都市像」

(検討中：案1)

開かれたまち みやざき

～ 挑戦し、成長する OPEN CITY ～

(検討中：案2)

挑戦し、成長する 開かれたまち

～ OPEN CITY MIYAZAKI ～



### 第3章 将来の都市像と目指すまちの姿

#### (2) 「開かれたまち」の実現を目指して

- ・ 将来の都市像の実現に向けて、本市が「目指す姿」を次の3つにまとめます。

##### ▶目指す姿1 都市（まち）として目指す姿（経済の姿）

#### 「時代の変化を見据えて成長し、世界に開かれているまち」

- ・ ひと、もの、情報が集まる経済都市として、その門戸が常に開かれているまちを目指します。

【分野】 経済・産業・雇用・都市基盤・総合交通

##### ▶目指す姿2 市民一人一人が目指す姿（ひとの姿）

#### 「多様性を認め、互いに支え合う みんなに開かれているまち」

- ・ 多様な価値観を認め合いながら、人々が生きやすいと感じられるまちを目指します。

【分野】 健康・医療・福祉・共生社会・市民活動

##### ▶目指す姿3 10年後の、その先へ向けて目指す姿（未来の姿）

#### 「明日への希望にあふれ、未来に開かれているまち」

- ・ 未来を担う子どもたちが健やかに育ち、持続可能な形で発展し続けるまちを目指します。

【分野】 子ども・子育て・教育・環境・防災・行財政運営

## 第3章 将来の都市像と目指すまちの姿

### 2 目指すまちの姿

#### ▶目指す姿1 (経済の姿)

#### 時代の変化を見据えて成長し、世界に開かれているまち

##### 【課題・背景】

- ・ 市民所得や市内総生産が低い傾向にあることから、持続可能で力強い産業政策が求められます。
- ・ 人口減少・少子高齢化の進行により、経済規模の縮小が懸念されます。一方で世界の人口は増加傾向にあることから、長期的視点で本市経済を発展させるため、グローバル化の進展を背景に、世界経済に目を向けることが重要です。
- ・ 生産年齢人口の減少に伴い、経済活動の担い手不足が深刻化する中、国内外の多様な人材を受け入れる環境づくりが必要です。

##### 【方向性】

- ・ ひと、もの、情報が自由に行き交い、新たな産業が創出されるとともに、地元企業の成長を促進するため、起業・創業や新分野への進出、海外展開に積極的に挑戦できる環境づくりを推進します。また、多様な主体と人材が互いに影響しながら、イノベーションを創出する仕組みづくりに取り組みます。
- ・ 持続可能な経済成長を構築するため、地域経済の好循環を促すとともに、外貨を稼ぐ経済構造を構築します。また、交通・物流ネットワークを最適化し、成長に必要な基盤を整えます。
- ・ 企業や若者、外国人等の多様な人材の双方から、進出先・移住先として本市が選ばれるよう、まちの魅力を創出するとともに、国内外から、訪れる場として本市が選ばれるよう、地域資源を最大限活用し、観光地としての価値の向上を図ります。
- ・ 経済活動を支える人材を確保するため、労働生産性の向上に向けた取組を推進していくとともに、外国人材やグローバル人材をはじめ、年齢や性別にかかわらず、多様な人材が活躍できる環境を整えます。
- ・ 若者が地元企業を選択したいと思えるよう、また若者が進学や就職で一旦県外に出ても、また地元に戻ってきたいと思えるよう、ライフステージや価値観に応じた働き方を選ぶことができる就労環境づくりを推進します。

▶目指す姿2 (ひとの姿)

多様性を認め、互いに支え合う みんなに開かれているまち

【課題・背景】

- ・ ライフスタイルや働き方など、人々の価値観が多様化している現代において、市民一人一人が互いに尊重し合うとともに、社会全体で多様な価値観を受け入れることが必要です。
- ・ 独居の高齢者や障がい者、外国人居住者をはじめ、多様な市民がその置かれた環境により、孤立したり、地域社会での生きづらさを覚えており、その改善策が求められます。
- ・ 住民相互のつながりの希薄化が進み、自治会加入率の低下などに見られるように、市民の地域への関心が薄れてきています。今後、地域のコミュニティ力の弱体化が懸念されることから、地域のまちづくりのあり方について、抜本的な対応策が必要です。

【方向性】

- ・ 国籍、年齢、性別、性的指向、障がいの有無等にかかわらず、市民が自分らしく生きられるよう、幼少期から市民相互の思いやりの心を育むとともに、市民の理解を醸成するなど、多様な価値観が尊重される体制づくりを総合的に推進します。
- ・ 困りごとを抱える市民が、助けを求めやすく、健康に生活できるよう、医療、福祉体制の充実を図ります。また、地域社会において共に生活し、自立して活動していくための環境づくりを推進します。
- ・ 外国人居住者のサポート体制の強化を図るほか、多文化が共生できる社会風土を構築し、外国人居住者が生活しやすい環境を整えます。
- ・ 全ての世帯が安心し、地域で支え合って暮らしていけるよう、地域のまちづくりのあり方について議論を深め、持続可能なまちづくり体制の確立を図ります。

▶目指す姿3 (未来の姿)

明日への希望にあふれ、未来に開かれているまち

【課題・背景】

- ・ 未婚化、晩婚化の進行により、出生数が減少し、少子高齢化の大きな要因となっており、また経済的負担から、妊娠・出産、子育てに関して若い世代の不安感が増していることから、少子化対策に対し、総合的な対応策が求められます。
- ・ 家庭の経済状況やその置かれた環境によって、子どもたちに教育の格差が生じており、その格差解消が求められています。また、子どもの貧困、虐待、発達特性などにより支援を必要としている子どもや家庭が増加しており、それらの対応策を充実していくことが必要です。
- ・ 本市は日向灘に沿って長い海岸線を有しており、大規模な被災が想定されることから、南海トラフ地震を想定した地震・津波対策を強化することが必要です。また、近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化している自然災害に備えることも必要です。
- ・ 地球温暖化等の地球規模の環境問題を解決するため、脱炭素社会の実現に向けた取組を加速化していくことが必要です。
- ・ 社会保障費や公共施設の修繕更新費の増加など、本市の財政状況は今後厳しい局面に入ることが見込まれることから、適切な行財政運営を遂行し、新たな社会課題や市民ニーズへの対応に十分な資源を確保していくことが必要です。

【方向性】

- ・ 結婚を希望する市民がパートナーと出会い、出産を希望する市民が安心して子どもを産み育てることができるよう、総合的な少子化対策を推進します。
- ・ 全ての子どもに質の高い教育が保障されている環境を整えるとともに、子どもの貧困や児童虐待への対応、発達支援など、子どもや家庭への支援の充実を図り、困難を抱えた子どもや家庭が適切な支援を受けられる体制づくりを進めます。
- ・ 南海トラフ地震や激甚化する自然災害に備え、被害を最小限に抑える環境整備や地域の防災に対する体制強化、市民一人一人の防災意識の向上、他の自治体や民間団体等の連携強化など、総合的な防災体制を確立します。

## (精査中)

- ・ 二酸化炭素排出量ゼロに向けて、再生可能エネルギー普及の促進、省エネルギーの推進のほか、環境負荷の少ない生活パターンへの行動変容の促進など、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進します。
- ・ 将来にわたり真に必要な行政サービスが提供できるよう、積極的な行財政改革のもと、成果を重視した事務事業への取組強化、公共施設の適切な維持管理の徹底を行うとともに、自主財源の確保を図ります。

(精査中)

### 第3章 将来の都市像と目指すまちの姿

#### 3 将来の都市構造

(調整中※)

※ 都市計画マスタープラン改訂の議論を踏まえ、掲載予定。